



コミュニティ・スクールだより

市Webページ

中学校区での特色ある取組について

宇部市の令和6年度重点取組事項に「地域学校協働活動の推進」「学校運営協議会の一層の充実」があります。小中連携や学校と社会教育推進委員会との連携により、各中学校区で工夫した活動が展開されています。

常盤中学校区合同総合的な学習の時間の発表会及び恩田地区社会教育研修会

12月10日（火）、恩田小学校と岬小学校を会場に小中合同で総合的な学習の時間の発表会を実施しました。常盤中学校区では小学生と中学生が総合的な学習の時間での取組について双方で発表をすることを通して「伝える力」「聞く力」の向上をねらいにしています。

それぞれの会場では、発表は小6児童代表と中2生徒代表が行い、恩田小学校では5・6年児童、岬小学校では4・5・6年児童が発表を聞きました。また、常盤中学校と各会場をオンラインでつなぎ、中1・2生徒が発表を視聴し、質疑にも参加しました。

特に小学生にとっては、中学生の発表は内容だけでなく、発表の仕方から勉強となるため、常盤中学校区の小中一貫教育のテーマである『「あこがれ」と「自覚」の連鎖』につながる絶好の機会となりました。

発表会終了後、恩田小では、恩田地区社会教育推進委員会主催の社会教育研修会として児童・生徒・地域の方を交えて意見交換を行いました。児童・生徒は、総合的な学習の時間に学んだことをもとに自分の考えをしっかりと地域の方に伝え、地域の方の話を聞くことで新しい発見や考えを知ることができました。地域の方も、児童・生徒の思いや考えに触れる貴重な体験となり、お互いによい学びの場となったようです。



黒石中学校区合同学校運営協議会

黒石中学校区では、毎年2回行う合同学校運営協議会の中で児童・生徒、学校運営協議会委員、教職員が参加する熟議を実施しており、12月11日（水）、本年度第2回目の熟議が行われました。第1回目は1学期に小6児童代表、中3生徒代表、教職員、学校運営協議会委員で実施しましたが、今回は、小5児童代表、中2生徒代表が参加し、来年度に向けて「中学を卒業するとき、どんな原っ子、黒石っ子になっていきたいか」「そうなるために、何をがんばるか」というテーマで話し合いました。



7月のベースアップ研修で委員と教職員が、「12歳と15歳でめざすべき具体的な姿」について話し合っており、その時の意見を確認してから熟議を行いました。今回は、児童・生徒が加わり、自分たちがどうなりたいかを真剣に考え、委員や教職員と意見を交わしたことで、それぞれの立場での思いや願いを共有し、中学校を卒業する時の姿を考えることができました。今後は、話し合った意見を黒石中校区のグランドデザインに反映していく予定です。